

A H J I K A N R E P O R T

第57期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日





株式会社 **あじかん**
代表取締役 社長執行役員 **あしかが 直純**

プロフィール

- 1998年 当社入社
- 2010年 当社商品企画部長
- 2012年 当社執行役員および西日本営業部長
- 2014年 当社取締役
- 2017年 当社営業本部副本部長
- 2018年 当社ヘルスフード事業部長
- 2019年 当社常務取締役
- 2021年 当社代表取締役社長
- 2021年 当社代表取締役 社長執行役員

株主のみなさまへ

減収増益の決算をご報告申し上げます

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第57期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の連結会計年度が終了いたしましたので、営業の状況および決算などについてご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い経済活動が大きく抑制された結果、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。加えて、国外におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気減速懸念や米国新政権の発足により、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは『強い国内事業の実現』と『新事業の確立』をテーマとした第11次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、「営業基盤の拡充と市場開拓」、「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、「全社供給体制の強化と効率化」、「品質管理の強化」、「利益構造の改善」、「経営品質・企業価値の向上」を重点施策とした取り組みを展開いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に業務用食品等において外食・仕出し・給食業態の需要が大きく減少したことが下振れ要因となったことで、42,593百万円となり、前連結会計年度の実績を下回りました。一方、利益面につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより、最終的な利益は増益となり、減収増益の決算をご報告させていただきます。具体的な内容につきましては、本誌をご一読いただきますようお願い申し上げます。

当社は、引き続き、食品メーカーとしての社会的責任を全うし、目標の確実な実現に向けて全社をあげて取り組む所存であります。そして、創業の精神である「共に咲く喜びを実現する」に向けて、これからも、お客さま、お取引先、従業員、株主さま、地域社会など、すべてのステークホルダーのみなさまに喜んでいただける企業となるよう努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役 社長執行役員 **足利 直純**

連結業績ハイライト

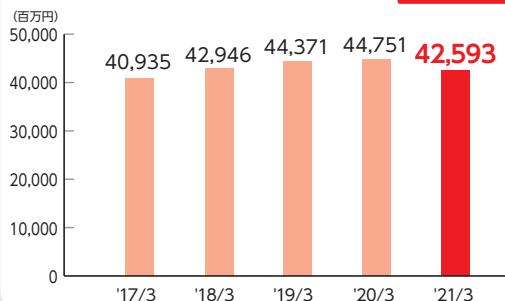
売上高 **42,593**百万円 (前連結会計年度比4.8%減少)

業務用食品等では、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食・仕出し・給食業態に加え、輸出・海外子会社の需要が大きく低下したことなどにより、売上高は37,632百万円(前連結会計年度比▲6.4%)となりました。

一方、ヘルスフード事業では、テレビCMなどで販売促進・広告活動を積極的に行った結果、通信販売での定期顧客数が増加しました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、機能性表示食品へのリニューアルを含めた新製品の導入効果により増加し、ヘルスフード合計の売上高は4,387百万円(同+12.1%)となりました。

以上の結果、売上高は42,593百万円(同▲4.8%)となりました。

売上高の推移

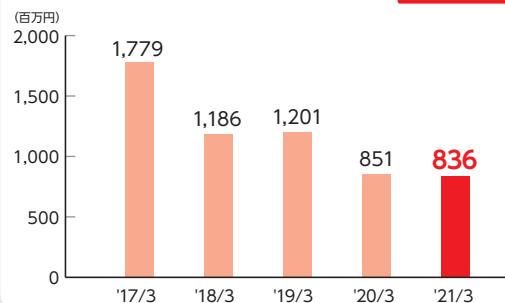


経常利益 **836**百万円 (前連結会計年度比1.7%減少)

当社主要原材料の価格が安定して推移したことに加え、生産技術力の向上による歩留まり率改善などにより、製造原価率は前連結会計年度以下となりました。また、費用面におきましては、Web会議・Web商談の積極的な活用による出張旅費の削減などにより、販売費は大きく減少いたしましたが、売上高の低下に伴う粗利益の減少分を吸収するには至らず、営業利益は631百万円(前連結会計年度比▲13.8%)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益やデリバティブの時価評価益の計上などにより、836百万円(同▲1.7%)となりました。

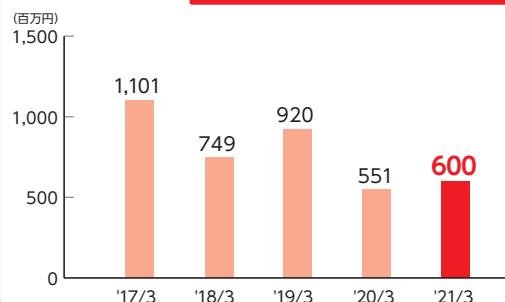
経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益 **600**百万円 (前連結会計年度比8.9%増加)

特別損失につきましては、固定資産売却損2百万円、固定資産除却損8百万円などを計上いたしました。一方、特別利益は、固定資産売却益13百万円、固定資産受贈益36百万円、投資有価証券売却益55百万円を計上し、最終的には94百万円の収益(純額)となりました。この結果、税引等調整前当期純利益は931百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円(前連結会計年度比+8.9%)となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益の推移



業務用食品事業 [玉子焼、野菜加工品、畜肉加工品、水産加工品など]

◎スーパーマーケット、コンビニエンスストア、寿司屋、テイクアウト弁当、外食チェーン、ベーカリー業態、ホテル業態など

業務用の世界では「玉子焼や寿司用具材といえば、あじかん」と言われるほど、高い品質に裏付けされた信頼を核に、製品の品揃えを拡大してまいりました。これまでの中食事業で培った経験や技術をもとに、外食やベーカリー業態など、新たな業態への販路拡大にも取り組んでいます。

注目のアイテム①

えび玉あんかけキット (コクうま)



導入
MENU

当社の人気のキット品「えび玉あんかけキット」をチャーハンにかけて使用することで、お客さまに採用していただきました。さらに彩としてかに風味蒲鉾をトッピングすることで、よりおいしいメニューに仕上げております。新型コロナウイルス感染症の収束の見えない中、量販店では、消費者の店舗滞在時間をいかに短縮するかや店舗従業員の人手不足などが課題となっています。キット品を使用した作業簡素化提案など、お客さまに寄り添った提案を引き続き行ってまいります。

注目のアイテム②

コクうま クリーミーソース 500g デュクセル



導入
MENU



ベーカリー向けの初の自社工場製品「コクうまクリーミーソース」が誕生いたしました。ピザなどのメニューにご使用いただいております。

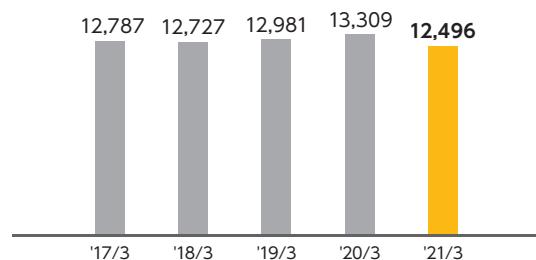
本製品は、開発段階でお客さまであるベーカリー部門のバイヤーの方とともに試行錯誤しながら協同で製品化しました。

〈デュクセルとは〉
フランス料理の定番ソースで、みじん切りにしたタマネギ・セロリ・キノコなどを香辛料とともにバターで炒め、旨味を凝縮させたもの

業務用食品分類別の売上高

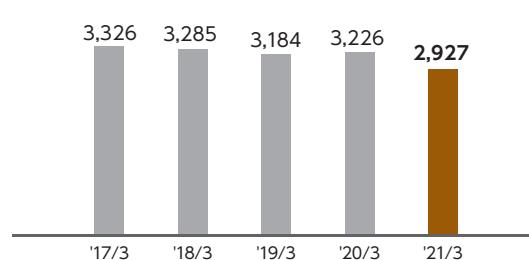
◎玉子焼類

(百万円)



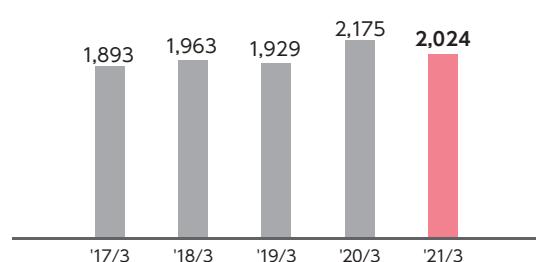
◎味付かんぴょう・しいたけ類

(百万円)



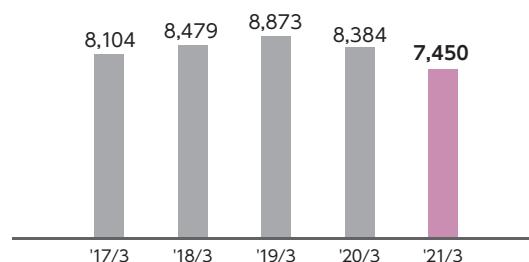
◎蒲鉾類

(百万円)

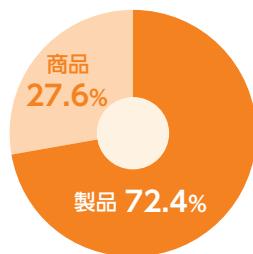


◎自社企画ブランド品

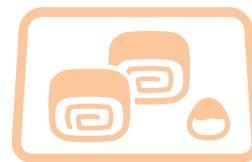
(百万円)



◎売上高構成比



新型コロナウイルス感染症の影響が継続する厳しい経営環境の中、スーパーマーケットを中心とした中食業態への可能な限りの提案・販売促進活動を展開し、売上高の減少を最小限にとどめる努力を行ってまいりました。2021年2月には呉営業所を移転開設するなど、国内の営業拠点の整備も進めております。



※製品: 自社工場製造品および国内・海外協力工場へ製造委託している自社企画ブランド品 / 商品: 他社メーカー仕入品 (問屋機能)

ヘルスフード事業 [ごぼう茶関連製品]

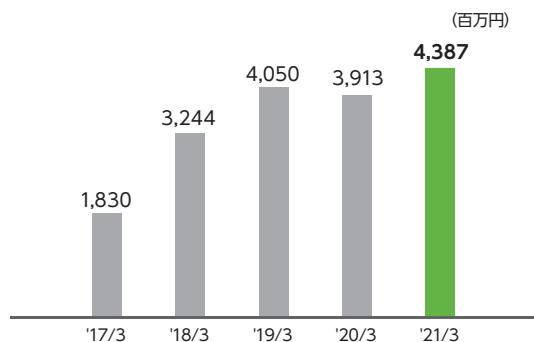
©通信販売、市販(ドラッグストア、スーパーマーケットなど)



おいしいだけでなく、健康にも繋がる食を目指して、ヘルスフードという新たなフィールドにも挑戦しています。2010年には、業務用食品という事業領域から一歩踏み出して、一般消費者向けの『あじかん焙煎ごぼう茶』を発売し、健康を気遣う多くの方々に支持される大ヒット商品となりました。

今後は、ごぼう以外の素材にも着目し、ヘルスフード分野において、新たな需要を創造してまいります。

ヘルスフード事業の売上高



新製品の『あじかん国産菊芋ごぼう茶 菊芋のおかげ』や『あじかん国産生姜ごぼう茶 生姜のおかげ』の売れ行きが好調だったことに加え、テレビCMや、紙媒体、電子媒体などで焙煎ごぼう茶の販売促進・広告宣伝を積極的に行った結果、定期顧客数が増加しました。また、ドラッグストアなどの市販品も、2020年9月に機能性表示食品としてリニューアルしたごぼう茶や新製品「大人のごぼう茶ミルク」の発売に加え、新規開拓やインスタプロモーションの強化を進めております。



新製品登場!

機能性表示食品 国産焙煎ごぼう茶28包入

「国産焙煎ごぼう茶28包」において「機能性表示食品制度」に基づいた届出を行い、消費者庁に受理されました(届出番号F96)。これに伴い、2020年9月1日から「機能性表示食品 国産焙煎ごぼう茶28包」としてリニューアル発売し、商品のパッケージに「本品にはイヌリン、クロロゲン酸が含まれています。イヌリン、クロロゲン酸には、お通じ(便量)を改善する機能が報告されています。」と科学的根拠に基づく機能性表示を行いました。また、本製品は、国連WFPのレッドカップキャンペーンの協賛対象商品として、売上の一部を国連WFPが主導している給食事業へ寄付しております。



海外事業 [玉子焼、かに風味蒲鉾、野菜加工品など]

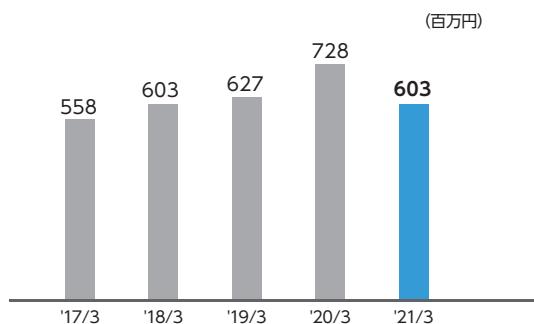
◎中国、北米、オセアニア、東南アジアなどの日系スーパーマーケット・日本食レストランなど



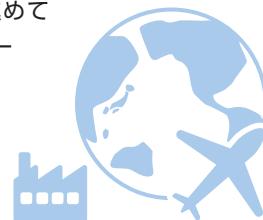
世界中に広がる日本食へのニーズにお応えするため、海外における営業活動、生産活動を実施し、海外市場の拡大を目指しています。

独自の技術で差別化された商品力を武器に、日本で培ったノウハウを現地の食文化と融合させ、多様な食文化に対して当社製品を販売してまいります。

海外事業の売上高



新型コロナウイルス感染症の影響により、輸出が大きく低下し、厳しい経営環境が続いておりますが、既存エリアである北米、オセアニアに加え、新規エリアであるEU諸国やシンガポールなどへの営業活動を進めております。このほか、インターネット上でのオンライン展示会への出展など、新しい商談形態にも挑戦しております。



シンガポールへの厚焼玉子の導入

海外へ鶏卵加工品を輸出するためには、各国の受入基準をクリアする必要があります。当連結会計年度は、シンガポールへの鶏卵加工品の輸出許可を取得することができ、2020年10月から、厚焼玉子を輸出しています。今後も引き続き欧州などへの輸出基準をクリアするための取り組みを進めてまいります。



あじかんネットワーク

国内の5つの自社工場と1つの協力工場で、徹底した品質管理のもと生産された製品は、全国へ張り巡らされた物流網を通じて、全国36営業所から直接、お客さまにお届けしています。

check 記事
TOPICS

移転開設 「呉営業所」を移転しました。

当社は、2021年2月17日、呉営業所を移転開設しました。これまで呉営業所では、商品保管スペースが狭く、一部の商品を他の営業所で保管していました。また、試作用キッチンがなく、調理しづらい環境でした。今回の移転で、十分な広さの冷凍冷蔵庫を完備するとともに、事務所とキッチンを分離することで、商品の配送や試作品の調理などの作業性が改善され、より効率的な営業活動を行えるようになりました。

今後ますます、より多くの方にあじかんを知っていただくとともに、お客さまに喜んでいただけるよう全力で取り組んでまいります。



▲事務所外観

呉営業所 〒737-0831 広島県呉市光町11-14
【TEL】0823-24-0695 【FAX】0823-24-0629

● 駐在所 ● 営業所
● 出張所 ● 工場



本社・広島工場

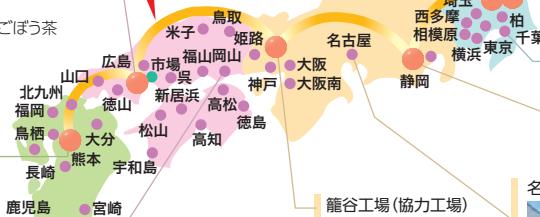
'78年稼働
主要生産品目/
玉子焼・味付品・ごぼう茶

鳥栖工場

'82年稼働
主要生産品目/
玉子焼・かに風味蒲鉾・おぼろ



● 沖縄



岡山営業所



'19年移転開設

籬谷工場(協力工場)

'92年稼働
主要生産品目/玉子焼

名古屋営業所



'18年移転開設

仙台営業所



'17年移転開設

守谷工場

'91年稼働
主要生産品目/玉子焼・味付品

つくば工場



'17年稼働
主要生産品目/玉子焼・
野菜加工品・ごぼう茶

千葉営業所



'16年開設

静岡工場

'98年稼働
主要生産品目/
玉子焼・かに風味蒲鉾・おぼろ

Outlook 次期の見通し

市場環境の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による消費への影響が懸念されるとともに、中長期的な原材料価格の上昇や労働需給の逼迫による人件費、物流費上昇など、会社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

販売面の見通し

当社グループは、2030年3月期を着地点とする長期ビジョン“あじかんV30”を策定し、その達成に向けて、2021年4月から第12次中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)に基づいた取り組みを展開しています。その基本戦略は、「需要創造型食品メーカーへの挑戦」、「利益構造改革と経営品質の向上」としています。需要創造型食品メーカーとは、潜在ニーズを捉え自ら市場(需要)を企画し、差別化された製品とサービスにより顧客に価値を提供することを競争力の源泉とする食品メーカーです。

また、2017年11月に竣工したつくば工場の投資回収に努めるとともに、営業キャッシュ・フローの源泉となるEBITDAの拡大と戦略的投資のバランスをとることにより、財務体質の健全化を図っていくことも重要であると認識しています。

業績の見通し

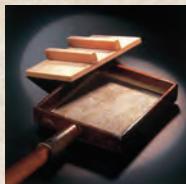
2022年3月期は、売上高44,500百万円(当連結会計年度比+4.5%)の増収見込みですが、当社主要原材料である鶏卵をはじめ、原材料価格の高騰が予想されており、その影響で営業利益280百万円(同▲55.7%)、これに営業外損益を加えた経常利益は200百万円(同▲76.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は150百万円(同▲75.0%)を見込んでいます。

あじかんのあゆみ

当社の歴史は、創業者である足利政春が、1962年に広島市で個人創業したことから始まります。以来、地歩を固めながら確実に成長してまいりました。

売上高
(百万円)

40,000



30,000



広島製玉時代の本社工場



静岡工場

20,000



創業当時の作業風景

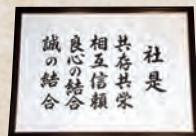


本社・広島工場 (1978年当時)



広島証券取引所へ株式上場

10,000



1978年 3月 商号を株式会社あじかんに変更
6月 本社・広島工場を広島市西区商工センター(現地)へ新築移転

1984年 8月 「厚焼玉子の製造方法」特許登録(初の登録特許)

1970年 1月 商号を株式会社広島製玉に変更

1965年 3月 資本金100万円にて株式会社三栄製玉設立

1962年 10月 広島市南区西蟹屋にて、創業者 足利政春が三栄製玉として個人創業

2000年 3月 東証2部上場(広証廃止による移行上場)

1998年 4月 静岡工場開設

1996年 12月 大証2部上場

1990年 12月 広島証券取引所へ株式上場(6日) / 資本金を1,102百万円に増資



特許証明書

1962

1970

1980

1990



愛康食品(青島)有限公司



山東安吉丸食品有限公司

- 2021年 1月 16日に創業者 足利政春名誉相談役が他界(86歳)
- 2月 呉営業所を移転開設 **check 記事 P7.TOPICS**
- 4月 長期ビジョン「あじかんV30」に向けた取り組みがスタート
- 足利 直純が代表取締役社長に就任
- 6月 役員制度を見直し、委任型の執行役員制度を導入

2020年 1月 「あじかん国産菊芋ごぼう茶 菊芋のおかげ」発売

2019年 3月 「あじかん焙煎ごぼう茶プレミアムブレンドごぼうのおかげ」が機能性表示食品として受理
4月 株式会社井口産交を完全子会社化

2018年 1月 プライバシーマーク認証取得

2017年 6月 監査等委員会設置会社へ移行
11月 つくば工場開設

2016年 9月 FSSC22000認証取得

2014年 1月 ISO22000認証取得
5月 中国に「味堪(広州)餐飲管理有限公司」を設立

2013年 9月 香港に「味堪香港有限公司」を設立

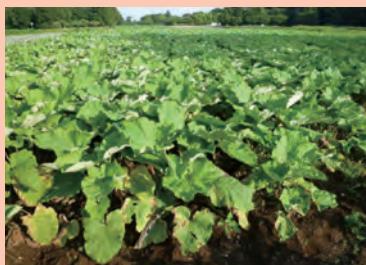
2012年 4月 株式会社あじかんアグリファームを設立

2010年 12月 通信販売にて「つくば山崎農園産あじかん焙煎ごぼう茶」を発売(焙煎ごぼう茶の販売開始)

2005年 5月 中国に合弁会社「愛康食品(青島)有限公司」を設立

2003年 12月 ISO14001認証取得

2001年 1月 中国に「山東安吉丸食品有限公司」を設立
2月 ISO9001認証取得



あじかんアグリファーム



つくば山崎農園産
あじかん焙煎ごぼう茶



【機能性表示食品】
あじかん焙煎ごぼう茶
プレミアムブレンド
ごぼうのおかげ



つくば工場



FSSC22000の登録証

売上高
(百万円)

40,000

30,000

20,000

10,000

0

2000

2010

2020 2021

決算のご報告 [連結]

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
流動資産	10,945	10,755
固定資産	13,161	12,990
有形固定資産	11,079	10,643
無形固定資産	331	471
投資その他の資産	1,750	1,875
資産合計	24,106	23,745

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
流動負債	9,702	8,945
固定負債	1,751	1,572
負債合計	11,454	10,517
株主資本	12,443	12,929
その他の包括利益累計額	208	298
純資産合計	12,652	13,228
負債純資産合計	24,106	23,745

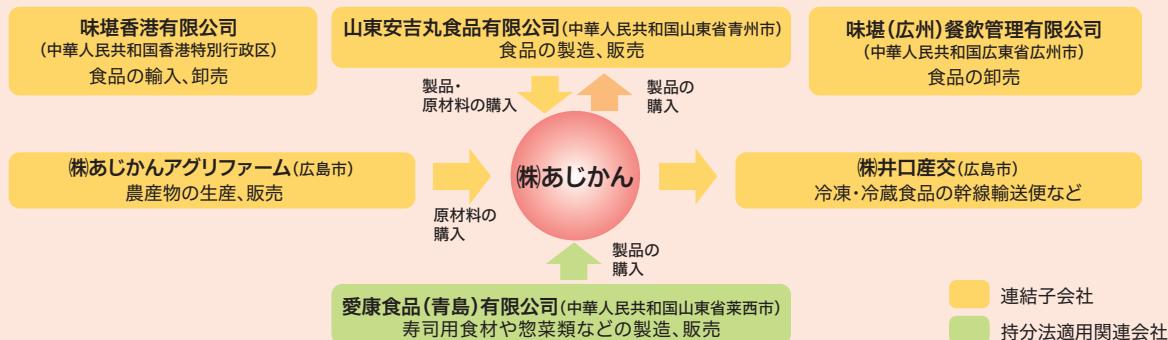
総資産 23,745 百万円 (前連結会計年度末比 **361百万円減少**↓)

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ361百万円減少し、23,745百万円となりました。主な増減要因は、流動資産では、受取手形及び売掛金の増加126百万円、原材料及び貯蔵品の減少225百万円、商品及び製品の減少110百万円であります。固定資産では、投資その他の資産において、退職給付に係る資産や投資有価証券が増加したものの、減価償却の進行に伴い有形固定資産が大幅に減少したためであります。

純資産 13,228 百万円 (前連結会計年度末比 **575百万円増加**↑)

純資産は、前連結会計年度末に比べ575百万円増加し、13,228百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加600百万円、その他有価証券評価差額金の増加61百万円、剰余金の配当による減少114百万円であります。

企業集団の状況



損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	44,751	42,593
売上原価	32,933	31,130
売上総利益	11,818	11,462
販売費及び一般管理費	11,085	10,831
営業利益	732	631
営業外収益	208	263
営業外費用	89	57
経常利益	851	836
特別利益	88	105
特別損失	39	10
税金等調整前当期純利益	900	931
法人税等	349	331
当期純利益	551	600
親会社株主に帰属する当期純利益	551	600

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,209	2,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 815	▲ 238
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,060	▲ 1,770
現金及び現金同等物の増減額	321	▲ 2
現金及び現金同等物の期首残高	1,444	1,765
現金及び現金同等物の期末残高	1,765	1,763

長期ビジョン あじかんV20

■ あじかんV20とは

あじかんの2020年に向けた『VISION』として命名しました。

■ 基本方針

『独創的な技術力で差別化できる食品を創造するメーカー』として成長していくために、以下の3つの方針を策定し、それに沿って各施策を展開しています。

1. ブランド価値の向上

- ・人間力を磨き、経営の質を高めます。
- ・差別化された高品質の商品とサービスを通じ、価値あるブランドを確立します。

2. 継続的な需要創造

- ・食シーンの提案を通じ、消費者ニーズを創造します。

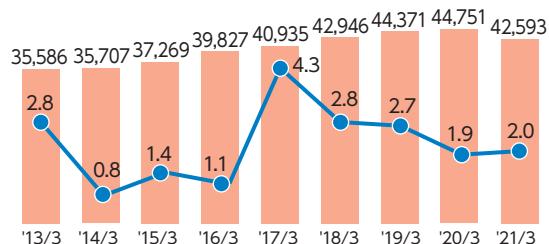
3. グローバル展開

- ・国際競争力のある調達・生産を実現し、販売を加速させます。

■ 定量目標

売上高(2021年3月期)	520億円
経常利益率(2021年3月期)	4.0%以上

【定量目標の推移】 ■ 売上高 ● 経常利益率



会社概要

- ▶商号 株式会社あじかん
AHJIKAN CO.,LTD.

- ▶設立 1965年(昭和40年)3月19日(創業 1962年)

- ▶本社 広島市西区商工センター七丁目3番9号

- ▶資本金 1,102百万円

- ▶従業員数 964名(パートタイマーおよび臨時雇用者を除く)

取締役紹介 (2021年6月29日現在)

- 取締役 会長…………… 足利 恵一
- 代表取締役 社長執行役員…………… 足利 直純
- 代表取締役 専務執行役員…………… 豊田 太
- 取締役 専務執行役員…………… 江角 知厚
- 取締役 常務執行役員…………… 玉井 浩
- 取締役 (常勤監査等委員)…………… 樋口 研治
- 社外取締役 (監査等委員)…………… 川平 伴勅
- 社外取締役 (監査等委員)…………… 稲葉 琢也

株主優待品

毎年3月末時点の株主名簿に記載された100株以上保有していただいている株主のみなさまに、5月下旬に「自社取扱品の詰め合わせ」をご送付いたします。

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上 500株未満	1,000円相当の自社取扱品
500株以上 1,000株未満	2,000円相当の自社取扱品
1,000株以上	3,000円相当の自社取扱品

2021年の株主優待品は、みなさまからいただいたご意見をもとに「自社製品の詰め合わせ」をお送りさせていただきました。

ご贈呈品目は、100株以上500株未満保有していただいている株主の方へ「機能性表示食品 ごぼうのおかげ(7包)」、「大人の ごぼう茶ミルク150g」を、500株以上保有していただいている株主の方へは「冷凍厚焼玉子」、「国産鶏めしの素」、「冷凍小松菜和え物」、「やわらか味付牛肉」、「たいやき」を1,000株以上保有していただいている株主の方へは、500株以上保有していただいている方への贈呈品目に加え「冷凍ハンバーグ(デミグラスソース)10個入」を送付させていただきました。



左記のほか、広報誌「膳」(年4回発行)や、毎年9月末時点の株主名簿に記載された100株以上保有株主のみなさまには、「あじかんオリジナルカレンダー」(年1回)をご送付させていただきます。



株式の状況 (2021年3月31日現在)

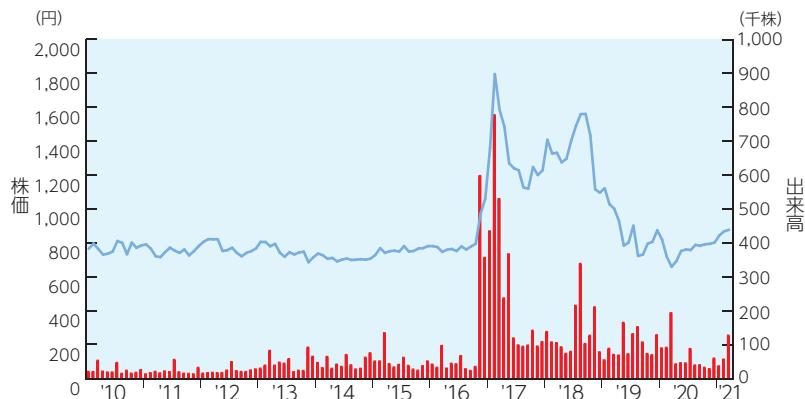
- >発行可能株式総数…………… 16,000,000株
- >発行済株式総数…………… 7,700,000株
- >株主総数…………… 5,341名
- >上場証券取引所…………… 東証2部
- >証券コード…………… 2907
- >単元株式数…………… 100株

■大株主の状況

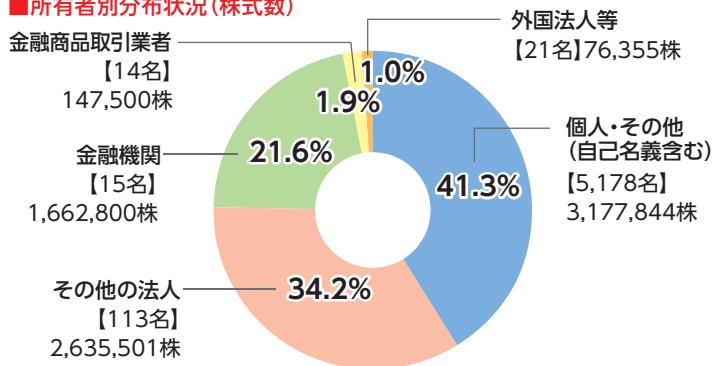
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社足利興産	1,771,100	23.3
あじかん三栄持株会	750,000	9.9
株式会社広島銀行	363,000	4.8
あじかん株式持株会	310,800	4.1
株式会社山口銀行	214,500	2.8
株式会社三菱UFJ銀行	192,500	2.5
明治安田生命保険相互会社	158,000	2.1
広島海苔株式会社	139,500	1.8
共栄火災海上保険株式会社	132,000	1.7
西和興産株式会社	126,000	1.7

(注)持株比率は、自己名義株式を控除して算出しております。

■株価の推移 [— あじかん株価 ■ 出来高]



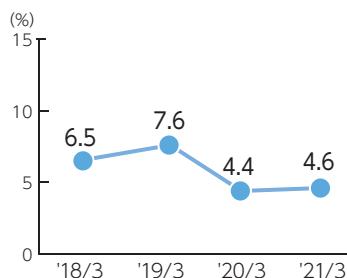
■所有者別分布状況(株式数)



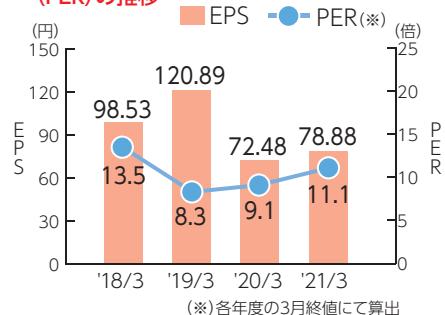
■配当金の推移



■自己資本純利益率(ROE)の推移



■1株当たり純利益(EPS)と株価収益率(PER)の推移



(※)各年度の3月終値にて算出

■ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会 毎年6月
■ 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日(当期中間配当は未実施)

- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告
(公告掲載URL) <https://www.ahjikan.co.jp/>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店で、お支払いいたします。

IRへの取り組み



当社は、IR(投資家向け広報)の小冊子を発行しており、企業広報誌『膳』と併せてお配りしています。企業広報誌『膳』、IR小冊子、決算情報はホームページでご紹介しておりますので、是非、ご覧ください。

あじかんホームページ >>> <https://www.ahjikan.co.jp/>

あじかんグループ企業の紹介

「あじかんグループ」は、鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売、ならびに運輸業を主な事業としています。

国内

▶ 株式会社あじかんアグリファーム(子会社)

所在地: 広島市西区商工センター七丁目3番9号
資本金: 30,000千円(当社100%出資)

主な事業内容 農産物の生産、販売および加工業務など

▶ 株式会社井口産交(子会社)

所在地: 広島市佐伯区石内南一丁目14番1号
資本金: 10,000千円(当社100%出資)

主な事業内容 冷凍・冷蔵食品の幹線輸送便など

海外

▶ 山東安吉丸食品有限公司(子会社)

所在地: 中華人民共和国山東省
青州市玲珑山北路2700号
資本金: 5,354千円(当社100%出資)

主な事業内容 食品の製造、販売



▶ 味堪香港有限公司(子会社)

所在地: 香港灣仔港灣道中30号新鴻基中心
3階301室
資本金: 7,700千円(当社100%出資)

主な事業内容 食品の輸入、卸売

▶ 味堪(広州)餐飲管理有限公司(孫会社)

所在地: 中華人民共和国広東省広州市越秀区
建設六馬路青菜崗街48号503室
資本金: 6,500千円(味堪香港有限公司100%出資)

主な事業内容 食品の卸売

▶ 愛康食品(青島)有限公司(持分法適用関連会社)

所在地: 中華人民共和国山東省青島市萊西市深圳北路225号
資本金: 3,436千円(当社50%出資)

主な事業内容 寿司用食材や惣菜類などの製造、販売

